

お父さん応援出張講座

in 山梨トヨタ自動車

を開催しました

参加者の方の声です♥



子どもとの接し方、
遊び方がよく分か
り、勉強になりました。
た。



今日教えていただいたことをたくさ
ん行って、子どもと良いかかわりので
きる父親になりたいと思います。年齢
を忘れて、こちらも楽しくできまし
た。

現在、1歳6ヶ月になる女
の子の父ですが、いざ子ども
と遊ぶとなると、身構え
てしまう自分がありました。
特段、おもちゃ等がなくと
も、身体を使って、随分工
夫ができるものだと驚き
ました。親子でなるべくス
キンシップをとりながら、
楽しく子育てを頑張っ
ていこうと思います。



* 講座より



～ふれあうことの大切さ～

親子で一緒に動き、ふれあい、真似し合い、今しかできないコミュニケーションを楽しみましょう！

親子で行う、からだを通した理解とコミュニケーションとは？

高野先生は、幼児期においては、偏りなく、いろいろな動きに楽しく挑戦することが大切と教えてくださいました。なぜかという、幼児期後期から8歳くらいまで、運動能力獲得の「**敏感期**」であり、この時期の運動能力が生涯の基盤になると、おっしゃっていました。

また、からだを使ったコミュニケーションは、運動能力を育てるだけでなく、遊びながら互いにふれあうことで、ストレスホルモンのレベルを下げることになることも教えてくださいました。

親に守られている安心感や心地よい皮膚への刺激が、そうさせるそうです。



そして、子どもとの遊びのキーワードは、「**模倣**」

子どもは、親の動きをじっと見て真似するそうです。親の動きを真似し始めた時、大切なことは、子どもの動きをしっかりと見て、親は、少し変化をつけて子どもに返すと良いそうです。

これは、動きを通してのコミュニケーションですね。

言葉だけでなく、遊びからもコミュニケーションの基本を自然と感じ取ることが出来るんですね。遊びって大切なんですね♪



♪ご紹介して下さった遊び♪ (一例です)

☆からだであそぼう

「ハイタッチゲーム」「お父さんのおふね」「くっついた くっついた」

「キュウリがとれた」「後出し からだでじゃんけん」

☆身近なものを使った遊ぼう

・タオル ・紙皿

